

肌感覚

辞書によると、肌感覚とは、「実際に見聞きしたり体験したりして感じ取ったこと」とある。

特に近年、社会一般は、金、物、効率、競争が求められ、精神的な余裕がない。

家庭を主体とする町内会は、それらの価値観をときほぐし、安心して寛容でくつろげるコミュニティーが求められる。町内会は大きな家族である。

町内会は行政の下請けではなく、お互いに協力して住みよい地域を作り上げるものであると同時に、町内会と行政の根本的な違いは、行政は法令を基に取り締まる性悪説にならざるを得ないが、町内会は人間の本性は善という性善説をとる。行政は法に基づき、町内会は情に基づく。

町内会の運営は、そのことが「正しいか正しくないか」よりも「住民が肌感覚で納得するかどうか」である